

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 石垣食品株式会社  
 コード番号 2901 URL <http://www.ishigakifoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石垣 裕義  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部経理課 課長 (氏名) 小西 一幸

TEL 03-3263-4444

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	301	△16.1	△27	—	△26	—	△27	—
26年3月期第2四半期	359	△10.9	△31	—	△33	—	△28	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △30百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △23百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△7.99	—
26年3月期第2四半期	△8.44	—

(参考) 持分法投資損益 27年3月期第2四半期 — 百万円 26年3月期第2四半期 — 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	426	299	70.3	88.44
26年3月期	405	329	81.4	97.37

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 299百万円 26年3月期 329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	575	△4.4	△32	—	△33	—	△33	—	△9.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	3,390,000 株	26年3月期	3,390,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,779 株	26年3月期	1,779 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	3,388,221 株	26年3月期2Q	3,388,221 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。  
なお、この四半期決算短信は、同レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。  
実際の業績は今後様々な要因によって当社の見込みと異なるかもしれないことをご承知おきください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高301百万円(前年同四半期比16.1%減)、営業損失27百万円(前年同四半期は営業損失31百万円)、経常損失26百万円(前年同四半期は経常損失33百万円)、四半期純損失27百万円(前年同四半期は四半期純損失28百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 飲料事業

麦茶については、最盛期である夏季の天候が、本年は低気温、多雨などの天候不順となり、衣料品や飲食料などあらゆる業種で季節商品の販売が不振となっており、当社麦茶もその影響を免れることはできず、特に秋以降の冷え込みが早かったこともありお盆明け以降の販売が振るわず、生産調整を行うほどの減収となった結果、売上高は前年同四半期比13.0%減となりました。前々年のブームが沈静化したごぼう茶、前年はテレビ放映の影響で好調であった杜仲茶、前年の製品のリニューアルが期待したほどの伸長に繋がらなかった烏龍茶など健康茶類は、ほぼ見込み通りの売上でしたが、主力の麦茶の最盛期における不振による工場稼働率の低下は、お茶製品全般の採算を悪化させることとなりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高146百万円(前年同四半期比20.9%減)、営業利益15百万円(前年同四半期比20.6%減)となりました。

#### ② 珍味事業

ビーフジャーキーは、OEM供給製品が堅調な売上を計上したものの、自社ブランド商品が競争激化の影響から減収となったことから、珍味事業合計では減収となりました。

損益面においては、従来から円安や主要原料である牛肉の価格高騰が採算を悪化させておりましたが、当第2四半期において、更に円安が進んだこと、アメリカにおける干ばつ及び厳冬により牛肉供給量が世界的な不足に陥り、一部牛丼チェーンや小売店の販売価格に影響が出るほど牛肉価格の上昇が続いたことから、生産拠点である中国子会社の採算が想定を大幅に上回り悪化しました。

それらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高151百万円(前年同四半期比11.2%減)、営業損失3百万円(前年同四半期は営業損失7百万円)となりました。

#### ③ その他

その他事業では、だしのもとの減収となったものの、業務用ナルトがそれを上回る増収となりました。またその他事業は委託加工事業であることから、堅調な損益を計上しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3百万円(前年同四半期比10.6%増)、営業利益0百万円(前年同四半期比82.9%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、主に麦茶の主販売時期であることによる季節要因から営業債権が増加したこと、及び短期借入金が増加したことにより、総資産は426百万円(前連結会計年度末は405百万円)、負債は126百万円(前連結会計年度末は75百万円)となりました。純資産は主に当期純損失の計上により299百万円(前連結会計年度末は329百万円)となり、自己資本比率は70.3%(前連結会計年度末は81.4%)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では平成26年10月20日発表の当社「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の内容から修正はございません。業績に影響を与える事象が明らかになり次第、適宜お知らせいたします。

なお上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績は今後様々な要因によって当社の見込みと異なるかもしれないことをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期において、重要な子会社の異動はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度から2期連続して営業損失、経常損失及び当期純損失を計上する見込みであることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループとしては、当該状況を早期に改善・解消すべく対処を行っており、当該状況に陥った要因は主に為替の急激な円安及び牛肉価格の高騰に伴うビーフジャーキーの採算悪化であることから、現状の為替及び牛肉価格に対応した商品価格の改定、新商品投入による工場稼働率向上、中国生産子会社が輸入許可を得ることで貿易商社を通さず原料牛肉を調達できることによるコストダウンを図るなど、事業採算の改善に継続的に努めております。

当社グループとしては、これらの対処を的確に行うことにより、当該状況が改善される見込みであること、及び今後の運用資金も十分に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しており、継続企業の前提に関する注記は掲載しておりません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	65,071	65,986
受取手形及び売掛金	87,720	117,106
商品及び製品	54,443	43,257
原材料及び貯蔵品	33,435	43,645
その他	3,210	1,984
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	243,880	271,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	52,344	50,227
機械装置及び運搬具(純額)	18,501	16,398
土地	47,780	47,780
リース資産(純額)	2,262	1,985
その他(純額)	2,241	1,892
有形固定資産合計	123,131	118,284
無形固定資産		
リース資産	8,021	7,039
その他	19,187	17,995
無形固定資産合計	27,209	25,034
投資その他の資産		
投資有価証券	3,740	4,063
その他	7,156	7,018
投資その他の資産合計	10,896	11,081
固定資産合計	161,237	154,400
資産合計	405,117	426,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,644	43,200
短期借入金	-	30,000
リース債務	2,570	2,605
未払法人税等	-	821
賞与引当金	3,566	2,491
未払金	21,561	26,881
その他	7,012	13,067
流動負債合計	66,355	119,068
固定負債		
リース債務	8,609	7,298
繰延税金負債	212	327
固定負債合計	8,821	7,626
負債合計	75,176	126,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	53,293	53,293
利益剰余金	△28,870	△55,954
自己株式	△782	△782
株主資本合計	323,640	296,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	383	591
為替換算調整勘定	5,917	2,538
その他の包括利益累計額合計	6,301	3,129
純資産合計	329,941	299,685
負債純資産合計	405,117	426,380



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	359,311	301,583
売上原価	244,369	198,189
売上総利益	114,941	103,393
販売費及び一般管理費	146,763	130,395
営業損失(△)	△31,821	△27,001
営業外収益		
受取利息	329	7
受取配当金	174	32
為替差益	-	334
雑収入	67	77
営業外収益合計	571	451
営業外費用		
支払利息	117	183
為替差損	1,821	-
雑損失	24	60
営業外費用合計	1,963	243
経常損失(△)	△33,213	△26,793
特別利益		
投資有価証券売却益	4,894	-
特別利益合計	4,894	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△28,318	△26,793
法人税、住民税及び事業税	290	290
法人税等合計	290	290
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△28,608	△27,083
四半期純損失(△)	△28,608	△27,083

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△28,608	△27,083
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,385	207
為替換算調整勘定	8,865	△3,379
その他の包括利益合計	5,480	△3,171
四半期包括利益	△23,128	△30,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,128	△30,255
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。